

平成 27 年度決算の概要

1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展を背景として、社会保障関係費が大きく増加していく一方、労働者人口の減少などにより、依然として厳しい状況が続いており、地方自治体には、自主性・自立性をより高めた行財政運営を行うことが強く求められている。

このような状況の中、本市においては、「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」を将来のまちの姿とする第五次総合計画前期計画の最終年度として、財政の健全性に留意しつつ、定住人口の確保に係る事業や、少子化対策に係る事業、経済の活性化に係る事業を重点項目に掲げ、市民生活の向上に取り組むとともに、「安心して生活ができるまちづくり」を実現するために様々な施策を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計 26,965,203 千円、国民健康保険特別会計 9,990,150 千円、下水道事業特別会計 1,760,478 千円、農業集落排水事業特別会計 46,284 千円、介護保険特別会計 5,539,903 千円、後期高齢者医療特別会計 757,734 千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

(1) 主な新規事業

ア まちひとしごと創生推進事業

まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略を策定した。

イ 看護師設置事業

障がい等により医療行為を必要とする児童が、安心して学校生活を送れるよう、第一小学校に看護師を配置した。

ウ 小学校施設整備事業

第一小学校・第三小学校・第七小学校校舎内吊り天井、第四小学校・美園小学校食堂吊り天井、第六小学校トイレ改修工事及び第五小学校トイレ改修工事設計を実施した。

エ 中学校施設整備事業

第二中学校校舎内吊り天井、第三中学校・多々良中学校柔剣道場吊り天井、第四中学校柔剣道場の改修工事及び第三中学校トイレ改修工事設計のほか、第一中学校

卓球場解体工事を実施した。

オ 幼稚園施設整備事業

北幼稚園・南幼稚園・東幼稚園・杉並幼稚園・西幼稚園内トイレ改修工事設計を実施した。

カ 文化会館運営事業

文化会館大ホール棟の耐震等改修工事に着手した。

(2) 主な継続事業

ア 金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付したほか、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用してプレミアム付館林市金券を発行し、一層の消費喚起及び地域経済の活性化を図った。

イ 幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成16年度から19か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事60.8mを実施した。

ウ 西部一号線道路改良事業

平成22年度から7か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は県事業負担金として、東武鉄道(株)への委託工事及び県発注工事等の費用を負担した。

エ 東部環状線改良事業（市道3363号線）

平成21年度から9か年継続事業として整備を進めているが、本年度は道路改良工事1,760m等を実施した。

オ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から33か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号線舗装工事を199.4m、4戸7棟の建物移転等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から35か年継続事業として整備を進めているが、本年度は駅西通り線歩道舗装工事を87.0m、1戸1棟の建物移転等を実施した。

・西部第二地区

平成11年度から26か年継続事業として整備を進めているが、本年度は学校通り線外6路線改良工事を373.8m、5戸11棟の建物移転等を実施した。

カ 公共下水道整備事業

昭和44年度から整備を進めているが、本年度は管きよ整備として污水管1,625.5m、雨水きよ156.7mの布設、処理場整備として、施設工事委託を実施した。